



Keio University
Shonan Fujisawa Campus
UNO LAB.

**INTRODUCTION OF
“REAL LIFE CONNECTION”**



[目次]

- “REAL LIFE CONNECTION”の概要
 - 誕生の経緯
 - コンセプト
- 研究内容
 - コンテンツ
 - テクノロジー
 - ユーザビリティとアクセシビリティ
- 期待される効果



["REAL LIFE CONNECTION"の概要]

- 誕生の経緯

- インターネットの新時代
- インターネットと環境情報

- コンセプト

- 「個人から世界」の情報広範性の創出
- 歪曲されていない情報の提供



[誕生の経緯]

インターネットの新時代

- ブロードバンドの普及
 - ストリーミング放送
 - オンデマンド放送
- コンテンツ技術の進化
 - ユーザー参加型ウェブサイトの誕生



インターネット、テレビ、ラジオなどの要素を持った
新メディアの誕生の可能性



[誕生の経緯]

インターネットと環境情報

- 環境情報交換に適したインターネット
 - グローバル性
 - 即時性
 - 情報交換メディア



環境情報交換メディア
“REAL LIFE CONNECTION (ReLic)”の
研究開発を開始



[コンセプト]

「個人から世界」の情報広範性の創出

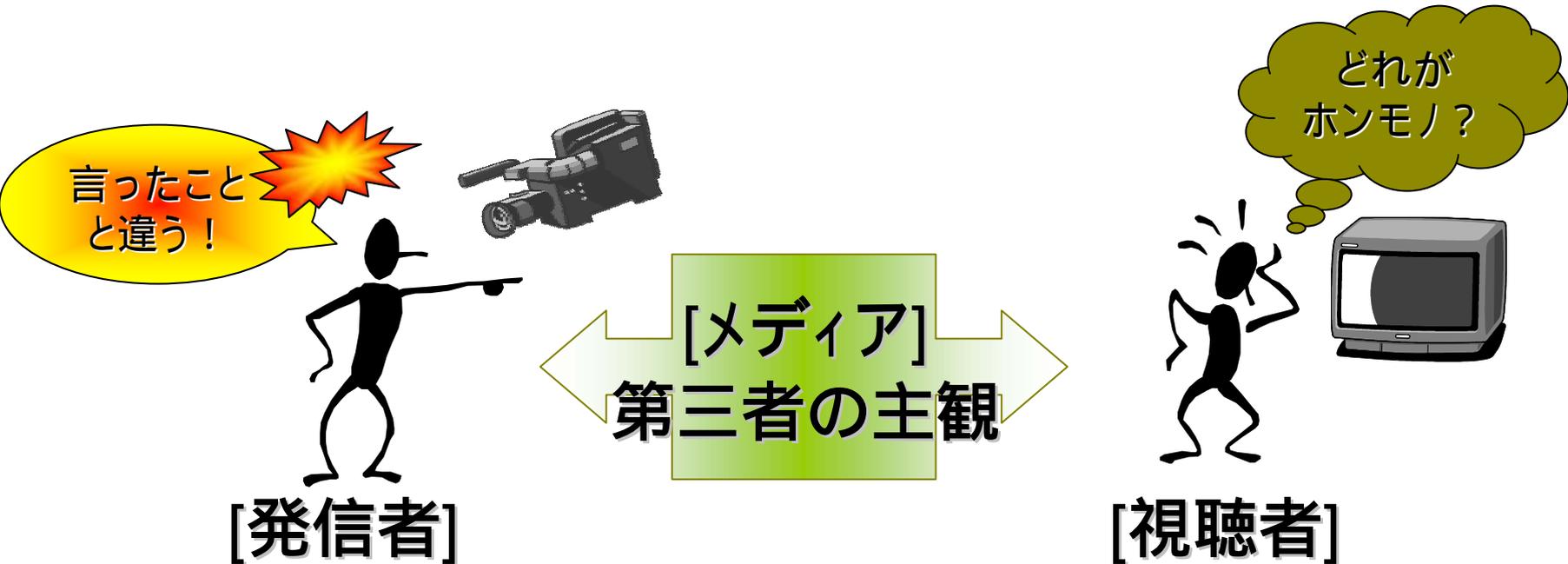
- 個人の環境情報発信
 - 企業、政府、NGO、研究者だけではない
 - 地元地域の変化に敏感
- ユーザーの障害の除去
 - 全てのユーザーを平等化
 - 多言語サポート
 - 非言語コンテンツを増やす



[コンセプト]

歪曲されていない情報の提供1

- 既存のメディアだと…

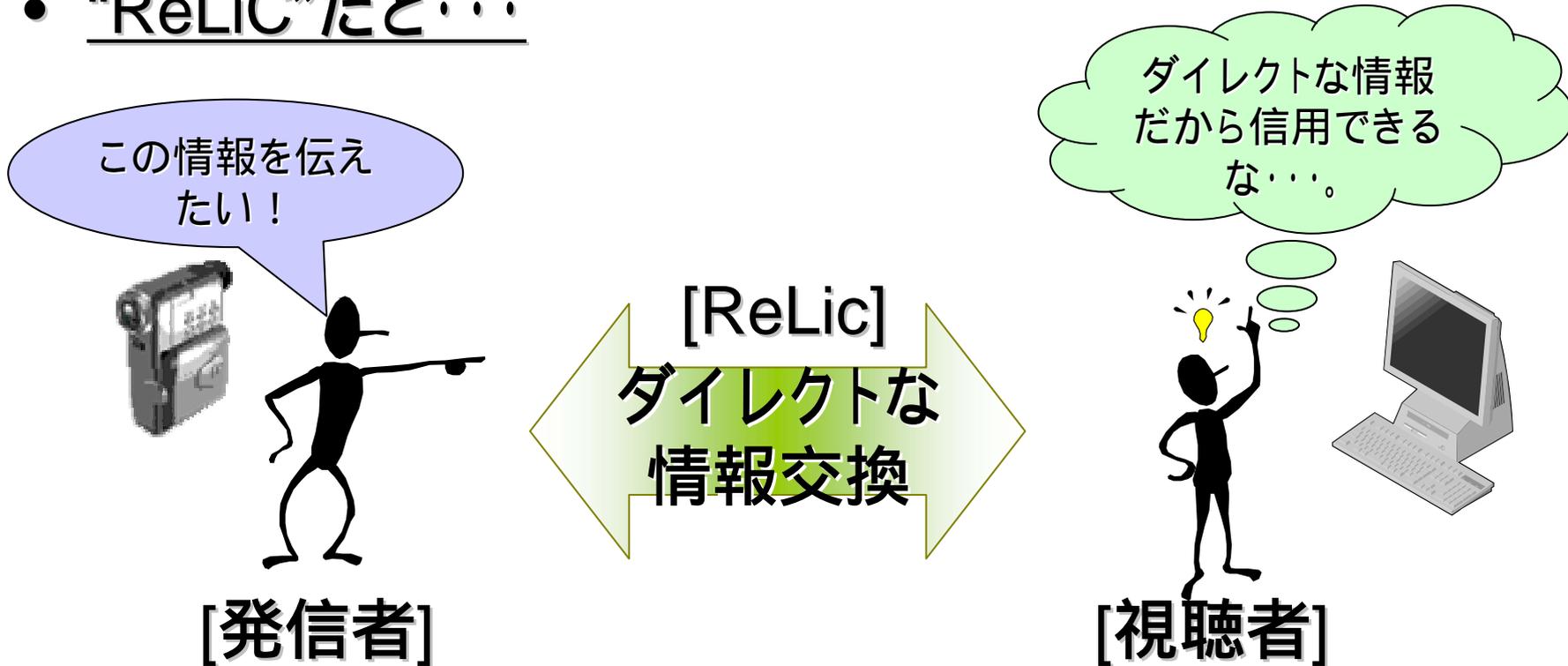




[コンセプト]

歪曲されていない情報の提供2

- “ReLiC”だと…





[研究内容]

- コンテンツ
 - チェック体制
 - 現状と今後
- テクノロジー
 - データベースの活用
 - Macromedia™ Flash™の活用
- ユーザビリティとアクセシビリティ
 - 使いやすさの追求
 - アクセスしやすさの追求



[コンテンツ] チェック体制

- コンテンツの概要

- 作成を依頼された個人や団体のもの
- ユーザーが生活の中で撮影・記録したもの

- チェック体制

- “ReLic”の趣旨に合っているか
- テーマに一貫性があるか



高いクオリティのコンテンツを提供するため



[コンテンツ] 現状と今後

- 現状

- 研究会メンバーで取材
- 東京都内および神奈川県内の各所

- 今後

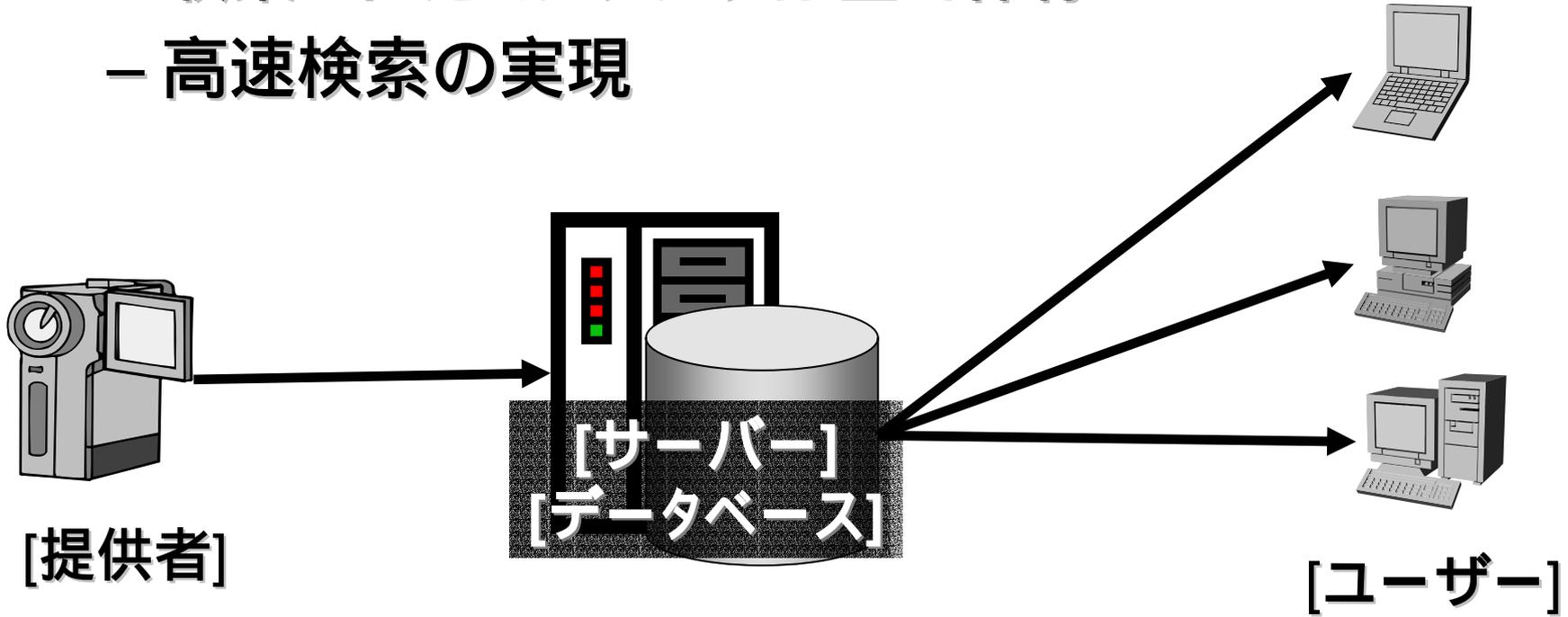
- 学内、国内の個人や団体などと協力
- さまざまな視点からのコンテンツを収集
- データベースの構築



[テクノロジー] データベースの活用

• データベースの必要性

- 収集されたコンテンツは全て保存
- 高速検索の実現





[テクノロジー]

Macromedia™ Flash™の活用

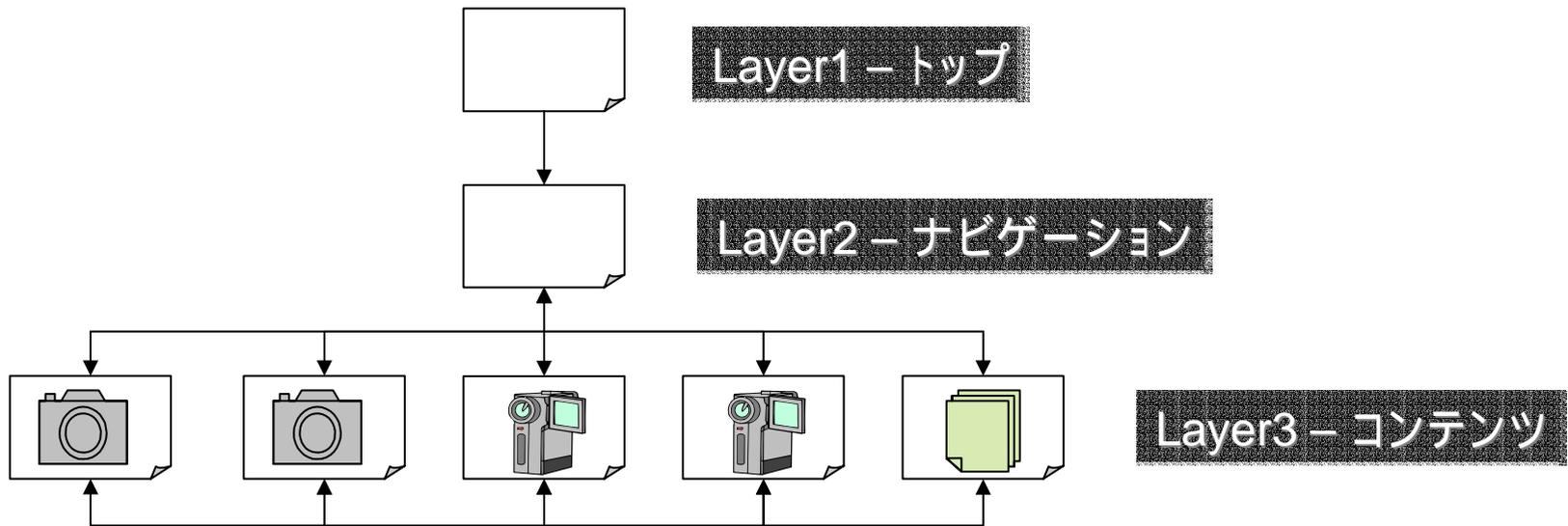
- インターフェース
 - HTMLとFlash™のみで構成
- Flash™の利点
 - データベース連携
 - 統一されたインターフェース
 - プラグインの普及率
 - 将来的な発展可能性



[ユーザビリティとアクセシビリティ] 使いやすさの追求

• レイヤーの設置

- 迷いやすい「メニュー」を廃止
- 直感的に情報にたどり着ける





[ユーザビリティとアクセシビリティ] アクセスしやすさの追求

- 全ての人が快適に利用できる
 - 体の不自由な方への対応
 - 音声ブラウザへの対応
 - 最小限のクリック操作
 - 低速回線を使っている方への対応
 - 高圧縮率技術の開発
 - クオリティ維持との兼ね合いの難しさ
 - Non-Flash™バージョンの開発も検討する余地あり



[期待される成果]

ボーダーレスなコミュニティ

- ユーザー、用途、価値観を特定しない
- ユーザーが独自の認識を持てる

• インパクトあるコンテンツ

- 新しい概念の次世代放送の提供
- 世界と共有できるインフラ



環境情報提供メディアのプロトタイプ